

平成 22 年 3 月 25 日

各位



認定試験事務局

TEL : 0120(031)749

E-mail : info@certify.jp

平成 22 年度 Web クリエイター能力認定試験 Internet Explorer 8 対応のご案内

Web クリエイター能力認定試験の対応環境につきまして、平成 22 年 4 月より現行仕様の Internet Explorer 7 対応に加え、Internet Explorer の最新バージョンである Internet Explorer 8 に完全対応した問題の提供を開始します。なお、Internet Explorer 6 への対応は終了させていただきます。

また、それに伴い、Internet Explorer 8 での試験実施における注意点がございますので、ご案内いたします。

■Internet Explorer 8 での実施における注意点

1.メモ帳によるソース編集の方法について

Internet Explorer 8 の標準設定では、コマンドバーの[ページ]の[ソースの表示]からソースコードを編集することができません。以下の手順により、メモ帳を使ったソースコードの編集が可能です。(問題冊子表紙の注意事項にも同様の手順が記載されています)

- ①HTML ファイルを右クリックする
- ②ショートカットメニューの[プログラムから開く]-[メモ帳 (XP:Notepad)]を選ぶ

2.特定の状況下で発生する不具合情報

以下の 3 つの条件が揃った場合、ソースコード編集時に本来開かれるべきファイルではなく、インターネット一時ファイルが開かれてしまい、編集内容がブラウザで確認できない不具合が見つかっています。(例えば、index.html を編集する場合、メモ帳のタイトルバーの表示が index[1] のような名称で表示されます。)

- ・ Internet Explorer 8 の開発者ツールを使用し、ブラウザ機能の[ソースの表示]からソースコードをメモ帳で開く設定にしている
- ・ 編集対象のファイルの文字コードが Shift-JIS である
- ・ 編集対象のファイルのソースコードに 2 バイト文字が含まれていない

Web クリエイター能力認定試験では、これら 3 つの条件が揃わないような配慮を行っていますが、万が一、不具合が発生した場合は、次の 3.の対処方法をお試しく下さい。

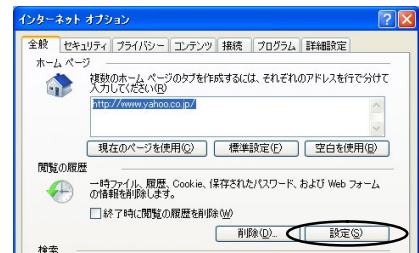
3.不具合発生時の対処方法

2.の不具合が発生した場合、編集・保存を行ったファイルは、インターネット一時ファイルとしてパソコンのハードディスク内に残っている可能性があります。対処方法をご案内しますので、以下の手順をお試しください。

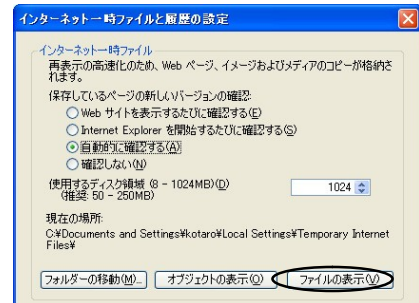
※なお、案内の内容につきましては、サーティファイがデータの救出を保証するものではありません。

【データの救出手順】

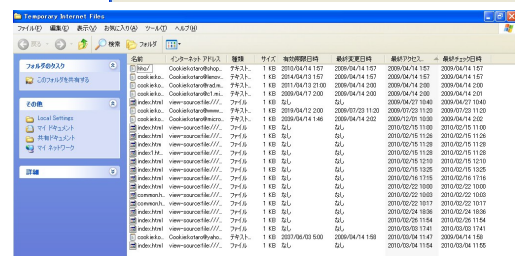
①Internet Explorer 8 のコマンドバーの[ツール]より[インターネット オプション]を選びます。



②[インターネット オプション]ダイアログボックスが表示されますので、[全般]タブにある[閲覧の履歴]より、[設定]ボタンをクリックします。



③[インターネット一時ファイルと履歴の設定] ダイアログボックスが表示されますので、[インターネット一時ファイル]の[ファイルの表示]ボタンをクリックします。



④インターネット一時ファイルが保存されている [Temporary Internet Files]フォルダが開かれますので、[名前]、[最終アクセス日時]、[最終チェック日時]を頼りに、該当ファイルと思われるものを探します。

⑤見つかったファイルをコピーし、任意の場所に貼り付けて保存します。

⑥ファイル名が自動的に変更され、拡張子がなくなる場合がありますので、その際は該当ファイル名に拡張子「.html」を付加します。(例：index.html)



⑦手順⑤で保存したファイルをブラウザもしくはメモ帳で開き、直前まで編集・保存を行っていたファイルかどうかを確認してください。

以上